$Alter^+_{Aller}$ 

# H.264 デジタルレコーダー **AD-N4 シリーズ**

# 取扱説明書



このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。 本書は、保証書付ですので大切に保管し、必要なときにお読みください。 製品を、安全に正しくお使い頂くため本書をよくお読みになり十分にご理解の上使用 してください。

安全上のご注意	4	メニュー操作	
		メインメニュー表示	31
必ずお読みください	6	カメラ	
		調整	32
接続と準備		タイトル表示	33
パッケージ内容の確認	9	RS-485	34
各部名称	10		
カメラからの配線	14	システム	
モニターへの配線	15	設定保存 / 復旧	35
メイン出力 1 (HDMI 接続 )	16	言語 (LANGAGE)	38
メイン出力 2(VGA 接続 )	17	NTSC/PAL 選択	39
サブ出力(アナログ接続)	18	ファン回転速度	40
電源を入れる	19	映像出力設定	41
HDD の認識	20	日付 / 時間設定	44
		パスワード設定	48
		情報	52
基本操作			
ライブ画面の見方	21	記録設定	
録画について	22	録画の基礎知識	53
工場出荷時の録画設定	22	画質と記録時間	54
見たい CH を表示する	23	画像情報	55
記録した映像の再生	24	記録フレームレート	56
日時指定再生	25	画質	58
イベント指定再生	27	音声	59
イベント記録	29	解像度	60
検索しおり	29	スケジュール	61
マウス操作	30	HDD 情報	63

アラーム	69
ビデオロス検知	70
モーション録画設定	71
警告音	77
操作音	78
外部センサーの設定	79
外部アラームの接続	83
アラーム出力条件	84
ビデオロス反応時間	85
アラーム継続時間	86
バックアップ	
USB メモリのフォーマット	87
USB に記録データを保存	88
バックアップデータをパソコンで再生	90
ネットワーク	
リモートアクセスについて	91
ローカル接続	92
ローカル接続の設定方法	93
グローバル接続	97
グローバル接続の設定方法	98
リモートアクセス操作	101
操作手順	103
高度な設定	108
アクセス権限	110
HDD の交換	112
仕様	
製品仕様	116
外形寸法図	118

 $Alter^{+}$ 

# 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお 使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管して下さい。

■絵表示についてこの「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、 あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな 絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



■本製品は、盗難防止器具・犯罪防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常に かかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害について当社は一切責任を負いません。 ■製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他の損害について、

当社は一切責任を負いません。 ■地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様 の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、 当社は一切責任を負いません。

■本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断・ 記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。



水などがかからないようにしてください ■本製品の上に(花瓶・植木鉢・コップ)や水などの入った容器または金属物 をおかないで下さい。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

分解・改造しないでください ■本機を分解・改造しないで下さい。事故・火災・感電の原因となります。



⚠ 注意
<ul> <li></li></ul>
<ul> <li>○ この機器の取扱について</li> <li>■本機に付属のケーブルをストーブ等の熱器具に近づけないで下さい。</li> <li>コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>■ACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。</li> <li>ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>
ご使用にならないときは ■ご使用にならないときは、安全のためACアダプターと接続を行わないで下さい。
◆ 本機の上に重い物を置かないで下さい ■重い物を置くとバランスが崩れて、転倒・落下等でけがの原因となることがあります。

# 必ずお読みください

お客様が本製品をご使用する際に必要な情報、注意点を記載しております。 ご使用前に内容をよくお読みになり製品の特性や最適な設置環境等をご理解いただい た上でご利用ください。

# 内蔵HDDについて

ハードディスク(以下HDD)は、ホコリ・振動・衝撃・磁気・高温に弱いため下記 の環境下ではご使用をお避けください。

また、大切なデータを失わないよう、下記の点にもご注意ください。

- ・本機に振動、衝撃を与えない。
- ・振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ・ビデオやアンプなど熱を持つ可能性のある機器の上に置かない。
- ・急減な温度変化のある場所では使用しない。
- ・電源を入れたまま本機を動かさない。

# 大切なデータを失わないために

万が一HDDが故障した場合、データの復旧は出来ません。

HDDの性質上、長期間の保存先としては十分な媒体ではありませんので必要なデー タ (証拠映像など)はUSBメモリにてバックアップを取っていただきますようお願 い申し上げます。

# ハードディスクの修理について

修理点検の際、不具合確認・改善のためにHDD内のデータを確認させて頂く場合が あります。また必要に応じお客様にご了承を頂いた上でデータのバックアップを取ら せていただく場合がございます。修理の際にHDDの交換・初期化が必要な場合は当 社の判断で初期化を行わせて頂く場合がございます。初期化の際はHDDに記録され た内容は全て失われますのでご了承ください。

また交換させて頂いた HDD 内の情報は第三者に漏洩することがないように厳重に処 理をさせて頂きます。

# 記録内容に関する免責事項

本機の不具合または外部メディアの不具合・修理など、何らかの原因で本機または接 続した外部メディアのデータが破損・消滅した場合の記録内容の保障、それに付随す るあらゆる損害について、当社はいかなる場合においても一切の責任を負いません。 またいかなる場合においても当社では保存データの修復・復元・複製は致しかねます のであらかじめご了承ください。

また交換させて頂いたHDD内の情報は第三者に漏洩することがないように厳重に処 理をさせて頂きます。

# 画面の焼きつきについて

長時間変化のない映像 (動きのないカメラ映像やメニュー画面など)を画面上に表示 させたままにするとモニター画面に残像 (焼きつき)が残ってしまう場合があります。 確認の必要がない場合などはモニターの電源を切るなどしてください。

# 時計機能について

本機の時計表示は内蔵クロックによってカウントされております。 内蔵クロックは月差で約1分程度の誤差が発生します。 防犯上の録画は時刻表示が重要になる場合がありますので、定期的に時刻をご確認 の上、正しい時刻に補正して頂くことをお願い致します。

### 動体検知機能(モーション検知)について

本機の " 動体検知機能 " は接続されるカメラの映像 ( ノイズやフリッカー、頻繁な 色調変化など ) に乱れがある場合、誤作動を起こしたり使用者の思い通りに動作さ せることが難しい場合があります。特に以下のような場合、動作が不安定になります。

- ・背景と被写体 (動体)の色が近い場合
- ・夜間撮影時、ノイズが多く発生する
- ・被写体の動きが遅い
- ・画面上の被写体が小さく表示されている場合
- ・車のライトや日光などが時折光源が差し込む場合
- ・ 蛍光灯がチカチカしている場合 (フリッカー)
- ・カメラに対して前後の動きをする被写体

動体検出を行う際は、あらかじめカメラの設置状況と被写体の動きを想定し被写体 の動きに沿った設定を行ってください。

また、昼と夜では検知感度に差が出ますので昼と夜両方の環境で動作を確認してい ただくことをお勧めいたします。

# 接続と準備

# パッケージ内容の確認

製品のパッケージを開封されますと、下記の物が入っておりますのでご使用前にご 確認ください。

① AD-N4 本体	× 1
② USB マウス	× 1
③ AC アダプタ	× 1
④ターミナルブロック(センサー・アラーム用)	× 1
⑤ BNC-RCA 変換コネクタ	× 5
⑥リモコン	× 1
⑦ 4CH 映像ケーブル	× 1
取扱説明書(本書) 保証書(本書裏表紙)	



※付属品の外観や仕様は改良の為予告なく変更する場合があります。

# 各部名称

製品の各部名称は以下のようになります。 本書では操作説明時の名称等で以下の名称が使用されております。



### 操作パネル



### 背面端子



# マウス



※マウス操作は本体のボタン操作と同じになります。

# リモコン

リモコンボタン名称

	<ol> <li>①イベントリスト</li> <li>②画面表示ON/OFF</li> <li>③メニュー</li> <li>④CH切替(+)</li> <li>⑤4分割表示</li> <li>⑥巻戻し</li> <li>⑦再生/一時停止</li> <li>⑧早送り</li> <li>⑨戻る</li> <li>⑪CH切替(-)</li> <li>⑪選択</li> </ol>	12リスト削除 13使用しません 14ジョグダイヤル(右回転) 15ジョグダイヤル(左回転)
--	--	---

※リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。 ※リモコンの各ボタン動作は本体のボタン操作と同じになります。

### カメラからの配線

まず始めに本機に接続できるコネクタ形状を確認し、下記の配線イメージを参考に カメラ配線を本機へ接続してください。

カメラケーブルのコネクタ形状は下記の2種類が接続可能です。

### 利用できるカメラ側コネクタ



RCA プラグ(主に家庭用カメラ) 同梱の(BNC-RCA 変換コネクタ)を利用して接続可能です。



BNC プラグ(主に業務用カメラ) 直接本機に接続可能です。押し込んで回転させるとロックします。



### モニターへの配線

カメラからの配線が終わりましたら本機からモニターへの配線を行ってください。

#### はじめに

- 本機は電源投入時に接続されているモニターを本機が自動選択します。使用しない 映像出力端子にケーブルが接続されていた場合、正しくモニターが選択されない場 合があります。電源投入後1分ほど経過しても画面が表示されない場合は、映像 出力端子の配線接続を1つにして再度電源を入れなおしてください。
- 2. 接続するモニターによって画面の縦横比、操作アイコンの画面表示位置が多少変わる場合があります。

#### メイン出力

モニター種類	地デジTV 等	PCモニタ	
映像入力端子	HDMI 1.2以降	VGA(Dsub-15Pin)	
画面解像度		1920x1080	
	1080p(1920x1080)	1680x1050	
	720p(1280x720)	1280x1024	
		1024x768	
リフレッシュレート	50Hz または 60Hz		

#### サブ出力

モニター種類	アナログTV 等
映像入力端子	BNC または RCA (NTSC)

上記の仕様を満たすモニターが利用可能です。

※稀に上記の仕様を満たしていても使用できないモニターがある場合がございます。
※サブ出カへメニュー画面を表示した場合、メニュー表示が読みにくくなる場合があります。

### メイン出力 1 (HDMI 接続)

- 1. 始めに市販の HDMI ケーブルをご用意ください。( 付属していません )
- 2. HDMI ケーブルをメイン映像出力端子 A にコネクタの向きを確認して差し込みま す。
- モニター側も同様に行ってください。※モニター側への接続方法がわからない場合 はモニターの取扱説明書をご覧ください。



### メイン出力 2(VGA 接続)

- 1. 始めに市販の VGA ケーブルをご用意ください。(付属していません)
- 2.VGA ケーブルをメイン映像出力端子Bにコネクタの向きを確認し差し込みます。
- 3. 両端のネジを締めて固定します。
- モニター側も同様に行ってください。※モニター側への接続方法がわからない場合 はモニターの取扱説明書をご覧ください。



### サブ出力(アナログ接続)

- 始めに市販の BNC または RCA のビデオケーブル(黄色)をご用意ください。 (付属していません。)
- 2. 下記図を参考に接続してください。



※サブ出力もメイン出力と同じように利用可能ですが、メニュー画面を表示した場合 メニュー表示が読みにくくなる場合があります。

# 電源を入れる

配線が終わりましたら本機に AC アダプターを接続し AC100V コンセントに接続す ると起動画面が表示され本機が起動します。

起動が完了すると接続しているモニターに映像が映し出されます。

接続のカメラ映像が表示されているかご確認ください。カメラ映像が表示されていない場合は、本書「P14 カメラからの配線」「P15 モニターへの配線」の項をご確認の上、 再度電源を入れ直してください。





使用しない配線は全て外してください。

本機は電源投入時に接続されているモニターを本機が自動選択します。使用しない映 像出力端子にケーブルが接続されていた場合、正しくモニターが選択されない場合が あります。電源投入後1分ほど経過しても画面が表示されない場合は、映像出力端子 の配線接続を1つにして再度電源を入れなおしてください。

# HDD の認識

電源が入りカメラ映像が表示されたら本機は自動的に HDD の認識を始めます。 この作業には約 30 秒~ 60 秒 程度必要です。

HDD が正しく認識されると画面下部のディスクステータスに容量が表示されます。 その後自動的に録画が開始されます。



ディスクステータス表示が見当たらない場合、本体またはリモコンの (空) ボタンを 押してください。

# 基本操作

# ライブ画面の見方

ライブ画面の表示は以下のようになります。



「\*」マークの表示は OSD ボタンを押すたびに表示の ON/OFF が可能です。

# 録画について

本機の初期設定では電源が入り HDD の認識後、カメラが接続されている状態であれ ば自動的に録画を開始します。

録画設定を特に変更しない場合は下記の工場出荷時設定のまま録画が行われます。 録画設定を変更する場合は各種設定(メニュー操作)「録画」の項をご覧ください。

### 工場出荷時の録画設定

カメラ番号	カメラ1	カメラ2	カメラ3	カメラ4
フレームレート	15fps	15fps	15fps	15fps
音声記録		>	<	
解像度		704>	<240	
画質	3(標準)	3(標準)	3(標準)	3(標準)
上書き録画		する(	(ON)	

# 見たい CH を表示する

画面を切り替える場合は下記の動作で行います。

#### 4 分割表示

#### 単画面表示

☞ を押すたびに1→2→3→4の順で画面表示が切り替わります。

(☞) を押すたびに4→3→2→1の順で画面表示が変わります。

# 記録した映像の再生

録画した映像を再生するには、2 通りの方法があります。

#### 日時指定再生

再生したい日時を指定して再生する方法です。 通常の再生ではこの方法を使います。

#### イベント指定再生

イベントリストから過去に起きたイベントを指定して再生する方法です。

主にモーション録画や外部センサーと連動している場合、機械トラブルの発生時の状 況確認等に使用します。

(この再生方法を利用する場合は、あらかじめモーション録画やセンサー録画の設定 を行っておく必要があります。)

# 日時指定再生

日時を指定して映像を再生します。



- 2. (□) ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
   ○
- 3. 再生したい日時を指定したら 🔎 を押すと再生が始まります。

■再生をやめるには (素) ボタンを押します。

録画ステータスバーの見方



日時指定再生時の操作



# イベント指定再生

日時を指定して映像を再生します。

操作手順

1. ライブ画面で (国) を押すとイベントリストが表示されます。



2. 🞰 / 🖤 または 🌔 を回してイベントにカーソルを合わせ 👀 を押す

とイベントの開始地点より映像が再生されます。

■再生をやめるには ふ ボタンを押します。

### イベントリストの見方



### イベント指定再生時の操作



### イベント記録

本機はカメラの断線やアラーム検出等が行われると自動的にイベントリストに記録し ます。記録される情報は以下の7種類です。



#### 🏽 💽 ワンポイントアドバイス!

本機は記録中に発生したイベントを合計で8192件記録することが可能です。 イベント記録はイベントが発生した時点で自動で記録されます。 8192件を超えてイベントが発生した場合は自動で古いイベントが消去され新しいイ ベントが上書きされます。

### 検索しおり

映像再生中または一時停止中に を押すと気になる箇所にしおりを挟む(マーキング)ことが出来ます。

#### 🌀 ワンポイントアドバイス!

挟んだしおりはイベントリストに保存されますので、気になる箇所にしおりを挟んで おけばいつでも見たい箇所をイベントリストからすぐに再生することが出来ます。

### マウス操作

本機は付属の USB マウスを接続してマウス操作が可能です。

#### マウスの接続

1. 本機前面の USB ポートに付属のマウスを接続します。

2. 画面上に「Detecting USB Device」と表示されしばらくすると画面上にマウスカー ソルが表示されマウス操作が可能になります。

#### <u> (</u>ご注意!

マウスを接続してしばらくたっても (2 分以上 ) マウスカーソルが表示されない場合 はマウスを接続した状態で本機を再起動してください。 また、市販のマウスを使用した場合機種によって使えない場合があります。

#### マウス用の操作アイコン

マウスカーソルを移動させ画面下部に表示されているマウス用ツールバーのアイコン をクリックするとそれぞれの操作が行えます。

各アイコンの動作

<ol> <li>①CH1を表示</li> </ol>	⑦カーソル左移動	
②CH2を表示	⑧再生/一時停止	
③CH3を表示	⑨カーソル右移動	
④CH4を表示	⑩イベントリスト表示	
⑤4分割表示	⑪リスト削除	
⑥メニューを開く	12画面表示ON/OFF	

#### マウスのクリック操作

メニュー画面では、カーソルを移動させてアイコンを直接クリックして操作可能です。 また、右クリックをすると一つ前の項目に戻ります。ホイールをまわすと数値の変更 が可能です。

# メニュー操作

### メインメニュー表示

ライブ画面で (見) を押すとメニュー画面が表示されます。 メニュー画面からは本機の各種設定が行えます。



メニュー画面の操作方法



### 🌀 ワンポイントアドバイス!

本機は設定を変更した時点でそれぞれ設定が反映されます。 変更した数値を別途保存する必要はありません。

### カメラ

この項ではカメラに関する設定、調整が行えます。



この項ではカメラの画質調整が行えます。調整可能な項目は以下の4項目です。

輝度(明るさ) コントラスト(くっきり感) 色合い(色のバランス) 濃度(色の濃さ)

操作手順

- 1. ライブ画面で 🗐 を押してメインメニューを表示し 🞰 🖤 🗊 🖻 で
- 2.【調整】にカーソルを合わせて \*\*\* を押します。
- 3. 調整したい【カメラ番号 (1~4)】に 🎰 🤍 でカーソルをあわせ 🐙 を押します。
- 調整したい項目【輝度・コントラスト・色合い・濃度】に (▲) (♥) で カ ソ ルを合わせて (●) を回して値を変更します。

■ 終了する場合は 😒 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

#### <u> (</u>ご注意!

画質調整は、本機を通して表示 / 録画を行った場合に反映されます。カメラ自体の画 質は調整しておりませんのでご注意ください。また、カメラ自体に画質の調整機能が ある場合は先にカメラ本体の画質調整を行うことをお勧めいたします。

# タイトル表示

この項ではカメラ映像の上部に表示するカメラタイトルの設定が行えます。



2.【タイトル表示】にカーソルを合わせて 🌔 を回して表示の種類を選択します。

#### 表示の種類

611	= 画面上に【Camera1】と表示
1	= 画面上に【1】と表示
0	= カメラ番号非表示

■ 終了する場合は 💿 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

#### RS-485

PTZ カメラ等をご利用の場合、RS-485 接続にてカメラの制御が可能です。



■ 終了する場合は 🔊 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

#### <u> ^</u> ご注意!

RS-485の設定は事前に PTZ カメラ側の設定も行い、設定を合わせる必要があります。 RS-485 の配線方法は「接続と配線」の項をご参照ください。

### システム

この項では本機のシステムに関する設定が行えます。

#### 設定保存 / 復旧

本機の設定情報を工場出荷時の状態に戻したり、現在の設定情報を USB メモリに保存、事前に保存しておいた設定情報を USB メモリから読み込んで復旧が行えます。

#### 工場出荷時設定

本機の設定情報を工場出荷時の状態に戻します。



#### 🐨 ワンポイントアドバイス!

工場出荷時設定に戻してしまうと、以前の設定には戻せません。設定情報は事前に USBメモリにバックアップを取っておく事をおすすめ致します。

#### 設定を USB に保存

本機の設定情報を USB メモリに保存します。



#### 🐨 ワンポイントアドバイス!

初めて使う USB メモリの場合または「フォーマットしてください!」と表示が出る 場合は、先に本機でのフォーマットを行ってください。

保存したデータは USB メモリの「Conf」フォルダ内に「data.rom」というファイ ル名で保存されます。

保存データは複数作る事は出来ません。保存を行うたびに上書きされます。
### USB から設定を復旧

USB メモリに保存された設定情報を読み込んで復元します。



6.「Uoload Successful !」と表示されたら本機の電源を入れ直してください。

■ 操作を行わない場合は 💫 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

### 🐨 ワンポイントアドバイス!

USB メモリで設定保存を行っていない場合等、USB メモリの「Conf」フォルダ内に 「data.rom」ファイルが存在しない場合、復旧作業がエラーになります。その際は、 USB メモリを本機から外し電源を入れ直して再起動してください。



メニュー表示の言語を選択できます。

2.【言語 (LANGAGE)】にカーソルを合わせて 🌔 を回すと言語が選択できます。

■ 終了する場合は 💿 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

🐨 ワンポイントアドバイス!

通常は、「日本語」でご利用ください。

# NTSC/PAL 選択

映像信号の種類を選択できます。

操作手順 1. ライブ画面で ↓ を押してメインメニューを表示し ↓ ↓ ↓ で ↓ にカーソルをに合わせて ↓ を押します。 2. 【NTSC/PAN 選択】にカーソルを合わせて ↓ を回すと映像方式を変更できま

す。

■ 終了する場合は 💿 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

## 🐨 ワンポイントアドバイス!

通常は、「オート」のままでご利用ください。 日本国内は「NTSC」規格です。オートのまま接続しても正しく表示されない場合は 「NTSC」に変更してみてください。



廃熱ファンの速度を変更できます。

操作手順
1. ライブ画面で 🥏 を押してメインメニューを表示し 🞰 🐨 💭 で
🔬 にカーソルをに合わせて 🐙 を押します。

2.【ファン回転速度】にカーソルを合わせて の を回すとファン速度が変更できます。

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

## 🐨 ワンポイントアドバイス!

ファンの速度は「高速」「標準」「低速」の3種類から選択可能です。 「低速」に設定すると動作音は小さくなりますが、廃熱性が低くなるため設置環境が 高温になる (+35℃以上)可能性のある場所では「標準」または「高速」に設定して ください。 映像出力設定

本機からモニターへの映像出力に関する設定が行えます。

## HDMI 表示サイズ調整

HDMI での接続時、画面の隅が見切れてしまう場合、この項目で調整可能です。

操作手順 -

- 1. ライブ画面で 🖉 を押してメインメニューを表示し 🞰 🖤 🕼 で
- 2.【映像出力設定】にカーソルを合わせて
- 【HDMI 表示サイズ調整】に カーソルを合わせ の を回すと画面の大きさを調整できます。

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

🏽 🖗 ワンポイントアドバイス!

お使いのモニタに合わせて調整してください。

### 出力解像度

操作手順

メイン出力モニターへの解像度が設定できます。

1. ライブ画面で 🗐 を押してメインメニューを表示し 🞰 🖤 🕅 🔛 で

- 2.【映像出力設定】にカーソルを合わせて を押します。
- 3.【出力解像度】に カーソルを合わせ を回して任意の出力解像度に変更し
   で【出力解像度更新】にカーソル合わせく を押すと一時的に解像度が変更され画面上に【いいえ ×】【はい○】と表示されます。
- 4. 解像度を変更する場合は【はい○】にカーソルを合わせ を押すと出力解像 度を変更されます。
- 終了する場合は 🐑 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

### 🌀 ワンポイントアドバイス!

通常は「オート」でお使いください。 【出力解像度変更】を選択した際に何も映像が表示されない場合は、お使いのモニター が選択した解像度に対応していません。表示がでない場合、約 40 秒ほどそのままに すると解像度の変更を自動的にキャンセルして元の解像度に戻ります。



# 🏽 🛐 ワンポイントアドバイス!

BNC 出力モードの種類
 「メイン画面」 = メイン出力画面と同じ表示を行います。
 「 巡 回 」 = 約5秒ごとに接続されカメラを巡回表示します。
 「カメラ1~4」 = 選択したカメラ CH を単画面表示します。

# 日付 / 時間設定

日付、時刻に関する設定が行えます。

## 日付 / 時間

日付、時刻、表示順序を設定可能です。

5. 入力が完了したら【更新して終了】にカーソルをあわせ デッシを押すと日時が更新 され一つ前の画面に戻ります。

#### 🐨 ワンポイントアドバイス!

日時は証拠になりますので1~3ヶ月に一回程度確認の上、調整を行ってください。

# GMT 設定

GMT(グリニッジ標準時)を選択できます。

操作手順 1. ライブ画面で (学)を押してメインメニューを表示し (小) (い) (い) (い) (い) で 縠 にカーソルをに合わせて 🐨 を押します。 2.【日付/時刻設定】にカーソルを合わせて 3.【GMT 設定】に カーソルを合わせ 🌔 を回す値を変更可能です。 ■ 終了する場合は 🐑 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

# 🏽 🛐 ワンポイントアドバイス!

日本国内は「GMT+9:00」ですので変更せずにそのままお使いください。



# 🔞 ワンポイントアドバイス!

日本国内は「サマータイム」を導入しておりませんので「+0」のままお使いください。

# NTP サーバー

本機がインターネットに接続できる場合、NTP サーバーに接続して時刻の自動補正 を行わせる事ができます。

操作手順 —

- 本機とインターネット回線へ接続できる機器(モデム、ルーター、ハブ等)をLAN ケーブルで接続します。
- 2. ライブ画面で 🗐 を押してメインメニューを表示し 🞰 🖤 で
- 3. 🞰 🤍 で【日付 / 時間設定】にカーソルを合わせて 🍬 を押します。
- 4. (NTP サーバー) にカーソルを合わせ () を回して NTP サーバーの種類を選択します。

■ 操作を終了する場合は 💬 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

## 🐨 ワンポイントアドバイス!

NTP サーバーは「MST」「NIST」の2種類が選択可能です。 アクセス先が異なるだけで両者の違いは特にありません。 「オフ」を選択すると本機がインターネットに接続出来る状態にあっても時刻補正を 行いません。



本機をパスワードロックおよび操作権限を設定できます。

### パスワード管理

設定すると、権限に応じて各種操作をロックします。 操作の際はパスワード入力を行わないと操作ができなくなります。

権限について

使用者 1 ユーザー ID「1」= ライブ、再生が可能

使用者 2 ユーザー ID「2」= ライブ、再生、メニュー操作 (パスワード変更以外) が可能 管理者 ユーザー ID「3」= 全ての操作が可能

#### 操作手順 -

- 1. ライブ画面で 🥮 を押してメインメニューを表示し 🞰 🖤 舵 😥 で
- 2.【パスワード設定】にカーソルを合わせて を押します。
- 【パスワード管理】に カーソルを合わせ を回すと 【×】 【○】を選択できま すのでパスワード管理を行う際は【○】に設定してください。

### 🏽 💽 ワンポイントアドバイス!

パスワードは忘れないようご注意ください。

# パスワードの入力

パスワード管理を設定している場合、各操作画面を呼び出した際にユーザー ID とパ スワードの入力を求められます。入力は以下の手順で行います。

権限について 使用者 1 ユーザー ID「1」= ライブ、再生が可能 使用者 2 ユーザー ID「2」= ライブ、再生、メニュー操作 (パスワード変更以外)が可能 管理者 ユーザー ID「3」= 全ての操作が可能



■ 操作を終了する場合は 💫 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

#### 🐨 ワンポイントアドバイス!

初期設定パスワード 使用者1 ユーザーID「1」=1111 使用者2 ユーザーID「2」=2222 管理者 ユーザーID「3」=3333

# パスワードの変更

ユーザー ID ごとにパスワードの変更が可能です。

【パスワード設定】にカーソルを合わせて
 を押すと設定画面が表示されますので、
 でパスワード変更したいユーザー ID にカーソルをあわせて
 を押します。

パスワード管理	×
使用者1	= ユーザー ID 1
使用者2	= ユーザー ID 2
管理者	= ユーザー ID 3

3. パスワードの変更画面が表示されますので 🌑 を回して右の矢印を変更したい 数字に合わせ を押して新しく決めたパスワードを (4 ケタ ) を入力します。



- 4.緑色のカーソルが下の段に移動しますので、確認用に先ほどの数字と同じ4ケタの番号を入力します。
- 50 H.264 デジタルレコーダー AD-N4 シリーズ

 2回目のパスワード番号を入力後「パスワードを変更しました!」と画面に表示が 出ればパスワードの変更は完了です。

■ 操作を終了する場合は 😒 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

### 🐨 ワンポイントアドバイス!

管理者用「ユーザー ID 3」のパスワードは絶対に忘れないようにしてください。 管理者用のパスワードを忘れてしまうと、他の権限のパスワードも変更できなくなっ てしまいます。

万が一忘れてしまった場合は、当社までご連絡ください。

# メニュー操作 - システム



本機のシステム情報を確認できます。

操作手順· 1. ライブ画面で 🗐 を押してメインメニューを表示し 🎰 🖤 📢 🔛 で 🌺 にカーソルをに合わせて 🛲 を押します。 2. 🞰 🖤 で【情報】にカーソルを合わせて 🐄 を押すとシステム情報が表示 されます。 ■ 終了する場合は <っ を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

## 🐨 ワンポイントアドバイス!

この項目は情報を確認するだけですので設定は行えません。 また、ライブ画面で「選択」を2回連続で押しても情報画面を表示できます。

## 記録設定

この項では録画に関する設定が行えます。

### 録画の基礎知識

録画の開始

本機では起動後にカメラが接続されている場合、自動で録画を開始します。 また、マルチプレクス機能を搭載しているためメニュー操作の際も録画を停止せずに 設定が行えます。

工場出荷時は、

フレームレート	:15fps( 全 CH)	
画質	:3( 標準 )	
解像度	: 704x240	
録画スケジュール	:全て時間を録画	に設定されています。

録画の停止

手動での停止は行えません。

スケジュールを設定する事で、録画しない時間を設定する事は可能です。

自動上書き機能

自動上書き機能を設定している場合は、ハードディスクが一杯になった場合でも古い データを消しながら新しいデータを記録していきます。

(工場出荷時は ON に設定されています。)

録画データの削除

任意の時間帯や手動操作での部分的なデータ削除はできません。

データを削除する場合は、【ディスクフォーマット】を行う事でディスク内全てのデー タを初期化 ( 全削除 ) できます。

一度初期化したデータは復元できませんのでご注意ください。

# 画質と記録時間

録画時の映像品質はフレームレート・画質・解像度の3要素で成り立っています。 それぞれを設定することで録画映像の品質と録画できる時間が変化します。



それぞれの設定方法は各設定の項をご覧ください。

# 画像情報

接続されているカメラの画像情報が確認できます。



■ 終了する場合は 🐑 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

🏽 💽 ワンポイントアドバイス!

この項目は情報を確認するだけですので設定は行えません。



カメラの録画フレームを設定できます。



2.【記録フレームレート】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示さ れます。



🏽 💽 ワンポイントアドバイス!

録画を行わない場合

フレームレートの欄を「×」もしくは「0」に設定した場合録画は行われません。

リアルレート

フレームレートが本機の録画能力の限界値を超えて設定された場合、各設定値に応じ た割合で記録できる最大のフレームレートに自動で変更され「リアルレート」の欄に 表示されます。録画の際は「リアルレート」に表示されたフレームレートで録画を行 います。



カメラの画質を設定できます。

操作手順 1. ライブ画面で 🖉 を押してメインメニューを表示し 🎰 🖤 で 🕋 にカーソルを合わせて 🛲 を押します。

2.【記録フレームレート】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示されます。



■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

## 🏽 💽 ワンポイントアドバイス!

画質変更の際は、あらかじめ変更した画質で5分ほど録画を行いその映像をご確認頂 くと確実です。 画質は3(標準)以上に設定して頂く事をお勧め致します。 音声

設定するとカメラと連動させて音声を再生、記録できます。



【記録フレームレート】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示されます。

	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16		
アラーム[FPS]	15 15 15 15 15 15 15 15		
A時間[FPS]	18 India 18 India		
B <sup>8</sup> 計問(FPS)	0000000		
リアルレート	XXXXXXXX		
<b>四</b> 英	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		
音声	× =× 1~4		
解做度	704x240		

3. 緑色の矢印を 🎰 / 🦤 で「音声」 ヘカーソルを移動させ 🌔 を回して音声

を連動記録させたいカメラ番号を設定します。

■ 終了する場合は 🔁 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

## 🐨 ワンポイントアドバイス!

音声は設定したカメラ CH を単画面表示にした際に再生されます。 4 分割表示をしている場合、音声は出ません。 記録映像の再生時も同様です。

### 解像度

録画時の解像度を設定できます。



2.【記録フレームレート】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示さ

れます。

	12345678	9 10 11 12 13 14 15 16		
79-4[FPS]	15 15 15 15 15 15 15 15 15			
A時間[FPS]	sj <mark>Teleta i slaste je</mark>			
B <sup>RI</sup> [FPS]	00000000			
リアルレート	XXXXXXXXXX			
適質	333333333			
合声	×			
解微度	352x2	и = <sup>г</sup> 352х	240」「704x24	0」「704x480」

3. 緑色の矢印を 🞰 🤍 で「解像度」ヘカーソルを移動させ 🔘 を回して音 声を連動記録させたいカメラ番号を設定します。

■ 終了する場合は 👳 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

### **〒 ワンポイントアドバイス!**

H.264 コーデックは特性上、高速に動く被写体を録画した際、横にブレたように記録 される場合があります。この場合、解像度を「704x240」に設定するとブレが発生 しにくくなります。録画の被写体に応じて解像度を使い分けて頂くとより効果的です。



1週間を30分ごとにA時間とB時間に分けて設定・記録することができます。



2.【スケジュール】にカーソルを合わせて を押すと設定画面が表示されます。





替えが行えます。

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

# 🌀 ワンポイントアドバイス!

スケジュール設定画面でジョグダイヤル を右に回すと選択範囲の拡大ができます。 反対にジョグダイアルを左に回すと縮小 します。


## スケジュール設定例 1

9:00 ~ 18:00 までを記録 18:00 ~翌 9:00 までを記録しない場合 スケジュールを以下のように設定しB時間帯のフレームレートを0にします。



### スケジュール設定例 2

月曜から金曜までを記録
土曜日曜を記録しない場合

スケジュールを以下のように設定しB時間帯のフレームレートを0にします。



## スケジュール設定例 3

平日の 21:00 ~ 8:00 と土日を 15fps、それ以外を 5fps で記録する場合 スケジュールを以下のように設定し A 時間のフレームレートを "15" B 時間帯のフ レームレートを "5" にします。



# HDD 情報

搭載されている HDD 情報の確認が行えます。

操作手順 1. ライブ画面で 🗐 を押してメインメニューを表示し 🎰 🎯 ▶ 送り **4**€ <u></u>戻し で 🕋 にカーソルをに合わせて 🛲 を押します。

2.【HDD 情報】にカーソルを合わせて (新)を押すと搭載されている HDD に関す

る情報画面が表示されます。







この項目は HDD 情報の確認の他に HDD に関連する各種設定も行えます。

記録モード

上書き設定等の映像記録の方法に関して設定が可能です。



### 🐨 ワンポイントアドバイス!

初期設定では上書き録画が有効に設定されています。 基本的には上書き録画は有効の状態にして頂く事をお勧め致します。 重要な録画データが有った場合、そのままにしておくと上書きされてしまいますので 早めにバックアップを取るなどしてデータを残してください。

## 外部 HDD 動作モード

本機は USB ポートより外部 HDD を接続して保存領域として利用可能です。 設定は以下の手順で行います。

操作手順 —

1.USB 接続が可能なハードディスクドライブを本機の USB ポートに接続します。

- 2. ライブ画面で 🗐 を押してメインメニューを表示し 🞰 🖤 にカーソルをに合わせて 🖛 を押します。
- 3.【HDD 情報】にカーソルを合わせて を押します。
- 4.【外部 HDD 動作モード】に緑色のカーソルを合わせて を回して外部 HDD の動作モードを選択します。

 外部HOOTMIFE-F
 外部HOOFFIL

 ● 外部 HDD を追加して記憶領域を増やします

 まう = ミラーリングで録画します

 また出し専用
 = 録画せずに読み出しのみを行います

5. モードを選択したらを押すとディスクの使用方法についての確認がされますので、

【〇はい】にカーソルを合わせて を押すと設定が変更されます。

■ 設定を行わない場合は、【× いいえ】を選択してください。

#### 🏽 💽 ワンポイントアドバイス!

初めて HDD を接続する場合や画面上に「フォーマットしてください!」と表示され る場合は、ディスクフォーマットを行ってください。

## 外部 HDD の動作モードについて

#### 外部 HDD 録画

内蔵 HDD の記憶領域に外部 HDD の記憶領域を追加して録画できる最大値を 増やします。認識できる HDD の最大容量は内蔵 HDD と外部 HDD の合計で 4TB(4000GB) まで可能です。

### ミラーリング

内蔵 HDD と外部 HDD 両方同時に同じ内容の録画データを記録していきます。 万が一、どちらかの HDD が故障した場合でも残った方の HDD から映像の再生が可 能です。

ミラーリング設定時は両方の HDD の内、小さい方の HDD 容量で録画を行うようになります。

#### 読み出し専用

外部ディスクに書き込みを行わず読み出し専用として使用します。 既に記録データが入っている HDD を接続して再生をする場合、このモードをご利用 ください。

# ディスクフォーマット

HDD をフォーマット (初期化) する場合、以下の手順で行ってください。



3. 【ディスクフォーマット 選択】に緑色のカーソルを合わせて () を 回 し て フォーアットする HDD を選択します。



4. フォーマットする HDD を選択したら【ディスクフォーマット】に緑色のカーソル を合わせて を押すと確認画面が表示されますので【〇はい】にカーソルを合 わせて を押すとフォーマットが行われます。

■ 設定を行わない場合は、【× いいえ】を選択してください。

# で ワンポイントアドバイス!

ディスクフォーマット (初期化)を行うと記録映像が全て消去されます。 一度初期化したデータは復元できませんのでご注意ください。

### アラーム

この項では本機の警報(アラーム)の動作に関する設定(ビデオロス検知/モーション録画/外部センサー入力/外部アラーム出力)を行うことができます。

#### プレアラーム機能

本機のアラーム録画はモーション検知や外部センサーが動作した際に、アラーム発生 の時間から 3~10 秒さかのぼって過去の映像を記録することができる「プレアラーム」 機能を搭載しています。

本機の " プレアラーム " 時間 (3~10秒) は本機の稼動状況によって自動的に設定 されます。※本機の " プレアラーム " 機能は解除することができません。

## アラームの種類

本機で利用できるアラームの種類は以下の通りです。 それぞれ必要に応じて設定することが可能です。

#### ビデオロス

ビデオロス(断線検知)を検知してお知らせする機能です。

#### モーション (動体検知)録画

画面上の動きを検出してその時間帯を録画する機能です。

#### 外部センサー連動録画

サードパーティ製の外部センサーを利用して録画を行う機能です。 ※外部センサーは接点出力のセンサーが利用可能です。※当社では外部センサーを発 売しておりません。

#### 外部アラームへの出力

アラームの発生時にサードパーティ製の外部アラームに出力する機能です。 ※外部アラームは接点出力(NO/NC)のセンサーが利用可能です。※当社では外 部アラームを発売しておりません。

# ビデオロス検知

カメラケーブルの断線を検知してお知らせします。 ビデオロスが発生した場合、該当CHの画面上に <mark>ズビデオロス</mark> と表示されます。



### 🐨 ワンポイントアドバイス!

この機能はカメラの映像信号が本機に届かなくなった場合に作動します。 画面上に"ビデオロス"と表示された場合は、カメラケーブルの切断やカメラへの電 源供給の有無、連結コネクタの緩み・抜けがないかをご確認ください。 使用していないCHがある場合はビデオロス発生時に混乱を招かないようビデオロス 検知を"×"にして頂くことを推奨します。

### <u> (</u>ご注意!

使用していないCHのビデオロス検知が有効になっていると画面上に " ビデオロス " マークが表示され続けます。

本機起動時よりビデオロスが発生している場合はアラーム音は発生しません。

モーション録画設定

モーション探知有効

モーション録画のON / OFFを設定できます。 モーション探知を有効にした場合、モーション録画が働きます。

操作手順 1. ライブ画面で 🖉 を押してメインメニューを表示し 🞰 💇 🕍 で 🔔 にカーソルをに合わせて 🛲 を押します。 2. 緑色のカーソルを【モーション探知】に合わせ 🔛 で赤いカーソルを設定し たいカメラ CH に合わせて 🌔 を回すと【〇 ( 有効 )】【×( 無効 )】が選択できます。 ■ 終了する場合は 💫 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

## 🌀 ワンポイントアドバイス!

モーション録画は画面上の動きを解析して検知を行います。 検出の精度を高めるために検知感度 / 検知エリアの設定も可能です。

## <u> (</u>ご注意!

モーション探知録画は、画面上で発生する動体(人間/動物/植物/機械/車など) 全てに平等に反応します。

そのため特定の動体 ( 人の動き等 ) に絞って検出を行うことは難しくなっております。 より確実な録画を行う場合は、外部センサーを利用されることをお勧めします。

## 検知エリアと感度設定

モーション録画を行う際の検知エリアと感度を設定できます。 検知エリアと感度はカメラ毎に設定可能です。



## 🐨 ワンポイントアドバイス!

検出エリアは 44x30(1320 マス ) で設定可能です。 また、感度は 100 段階で設定可能です。
#### エリア設定画面

モーション録画の検知エリアと感度を設定できます。 設定したエリアに対してモーション検知が有効になります。



#### 検知感度の設定

検知感度は、「動体メーター」を見ながらを回して行います。

■「動体メーター」が検知レベルを超えたときに録画が開始され、履歴がイベントリ

ストに追加されます。



#### 🌀 ワンポイントアドバイス!

「動体メーター」は設定するCHの「モーション検知有効」を【〇】に設定していないと動きません。

感度設定する場合は事前に設定CHの「モーション検知有効」を【○】にしてください。 また、「動体メーター」は設定されたエリアに対してのみ有効になります。 動体検知スケジュール

モーション録画を行う際、検知させる時間をスケジュール管理できます。 1週間を 30 分ごとにA時間とB時間に分けて設定・記録することができます。

操作手順 -1. ライブ画面で / を押してメインメニューを表示し 🔒 >【アラーム設定】>【動体検知スケジュール】の順に選択します。 ■有効 ■無効 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 月 火 水 木 余 3. 🞰 🖤 🕵 🖍 で赤いカーソルを移動させ 🐨 を押すと A/B 時間の切り 替えが行えます。 ■ 終了する場合は 🐑 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。 🏽 🖗 ワンポイントアドバイス! スケジュール設定画面でジョグダイヤル を右に回すと選択範囲の拡大ができます。 ПГ 反対にジョグダイアルを左に回すと縮小 します。

### 動体検知スケジュール設定例1

9:00~18:00 までを動体検知「有効」 18:00~翌9:00までを動体検知「無効」にする場合。



### 動体検知スケジュール設定例2

月曜から金曜までをまでを動体検知「有効」 土曜日曜をを動体検知「無効」にする場合



警告音

ビデオロス、モーション検知、外部センサーの入力が発生した場合の警報音の有無を 設定できます。



警告音は万が一のトラブル発生時に警告音を出してお知らせする機能です。 通常は【○】に設定しておいて頂く事をお勧め致します。

## 操作音

本機を操作する際のボタン音の有無を設定できます。



ボタン操作音の音量を調整する事はできません。

外部センサーの設定

サードパーティ製の外部センサーを利用して録画を行う機能です。 設定するには以下の手順で行います。

1. 外部センサーの接続 > 2. 入力タイプ > 3. 連動CHの設定

#### 1. 外部センサーの接続

下図を参考にアラームの接続は本機裏面のセンサー入出力端子に外部センサーを接続 します。接続には付属のターミナルブロックを利用します。



ターミナルブロック ピン配列



🐨 ワンポイントアドバイス!

外部センサーはNOタイプ・NCタイプ(接点出力)が利用可能です。 GND位置は全入力共用です。

### 2.入力タイプの設定

外部センサーを接続したらメニュー画面から接続された外部センサーの種類(入力タイプ)を設定します。



- 2.緑色のカーソルを【アラーム設定】に合わせ、\*\*\* を押します。
- センサーが接続された番号に赤いカーソルを合わせ の を回して入力タイプを 設定します。

12345670910111213141516 3,75947 NC = ノーマルクローズ NO = ノーマルオープン OFF = 使用しない

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

## <u> (</u>ご注意!

アラーム機能を利用する場合は事前に外部センサーを本機へ接続しておく必要があり ます。

#### 3. 連動 CH の設定

外部センサーの種類を設定したら、センサー入力時にどのCHと連動させるか設定し ます。本機はセンサー入力を任意のCHに設定可能です。



2. センサーと連動させたいカメラ番号に赤いカーソルを合わせ () を回して入力 タイプを設定します。



センサーの入力が有った場合、 【〇】に設定されているカメラ CH が録画さ れるようになります。

■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

### <u> (</u>ご注意!

設定された連動CHは録画の項で設定した「アラーム [FPS]」のフレームレートで録 画されます。連動CHを設定しない場合、アラームが発生しても録画は行われません。 また、一つのセンサー入力に複数のカメラCHを設定することも可能です。

## 外部アラームの接続

本機はアラーム(カメラ断線/モーション/外部センサー)の発生時に外部のアラームへ出力することができます。接続はアラーム入出力端子に外部アラームを接続します。※本機と接続できる外部アラームは接点方式のNOまたはNCタイプの製品です。

#### 配線イメージ

下図を参考にアラームの接続は本機裏面のセンサー入出力端子に外部センサーを接続 します。接続には付属のターミナルブロックを利用します。



ノーマルオープン (N.O) 型の機器の場合 =ALMNO と ALMCOM へ接続 ノーマルクローズ (N.C) 型の機器の場合 =ALMNC と ALMCOM へ接続

## アラーム出力条件

ビデオロス / モーション / センサー入力が発生した際の動作をそれぞれ詳細に設定で きます。



カーソルを合わせ 🌔 を回して各動作のON/OFFを設定できます



■ 終了する場合は 🐑 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

### 🌀 ワンポイントアドバイス!

アラーム発生時の動作時間はアラーム継続時間 / ビデオロス反応時間で設定された時 間がそれぞれ動作します。事前に他の項目を設定されていない場合は、設定が反映さ れません。

## ビデオロス反応時間

ビデオロス発生時どのくらいの時間警報を鳴らすか設定ができます。



### 🌀 ワンポイントアドバイス!

この設定はアラーム録画 / 検出 CH を拡大表示 / 警告音と連動しています。 アラーム発生時に設定した秒数の間、アラーム録画 / 検出CHの拡大表示 / 警告音の 動作が行われます。

それぞれの項目を設定しなかった場合、それぞれの動作は行われません。

### <u> (</u>ご注意!

この項目はビデオロスが発生した場合の継続時間です。

アラーム発生 / モーション探知の継続時間はアラーム継続時間の項で設定してください。

アラーム継続時間

アラーム発生 / モーション探知があった際にどのくらいの時間警報を鳴らすか設定が できます。



### 🌀 ワンポイントアドバイス!

この設定はアラーム録画 / 検出 CH を拡大表示 / 警告音と連動しています。 アラーム発生時に設定した秒数の間、アラーム録画 / 検出CHの拡大表示 / 警告音の 動作が行われます。

それぞれの項目を設定しなかった場合、それぞれの動作は行われません。

## <u> (</u>ご注意!

この項目はアラーム発生 / モーション探知が発生した場合の継続時間です。 ビデオロスの継続時間はビデオロス反応時間の項で設定してください。

### バックアップ

本機は録画済のデータを市販の USB メモリにバックアップすることができます。 始めに USB メモリを本機に接続してフォーマットしてください。

### USB メモリのフォーマット

バックアップを行う際は、始めに USB メモリを本機に接続してフォーマットする必 要があります。フォーマットの手順は以下の通りです。

## 

1. 市販の USB メモリを USB ポートに差し込みます。

2. ライブ画面で 🥮 を押してメインメニューを表示し 🞰 🖤 🕅 🔛 で

フォーマット

- フォーマット】にカーソルを合わせを押すと【○はい】【× いいえ】と表示されますので【○はい】にカーソル を合わせを押すとフォーマットが開始されます。
- 4. 正常に完了すれば画面上に【USB OK】と表示されます。

■ 終了する場合は 🐑 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

USB に記録データを保存

操作手順 -

- 1. あらかじめ本機でフォーマットした USB メモリを USB ポートに差し込みます。
- 2. ライブ画面で 🥏 を押してメインメニューを表示し 🞰 🖤 🕅 🖻 で

	年月日時分秒
開始時刻	14/02/05 10:45:31
終了時刻	14/02/05 10:45:36
チャンネル	
保存開始	

- 3. 【開始時刻】 【終了時刻】 にバックアップしたい時間をそれぞれ入力します。
- 次に【チャンネル】にカーソルを合わせ ので保存したいチャンネルを選択します。

5. 設定したら【保存開始】にカーソルを合わせを押すとバックアップを開始します。

6. 正常に完了すれば画面上に【USB OK】と表示され元の画面に戻ります。

------

■ 終了する場合は 🔊 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

## <u>™↓ ワ</u>ンポイントアドバイス!

バックアップしたデータは、保存した日時に沿ってファイル名が生成されます。 例:カメラ CH1 2015 年 03 月 18 日 15 時 35 分 30 秒からのバックアップを開始 した場合

ファイル名: ch01\_20150318\_153530\_xxxxxxx.mov

一回で行えるバックアップは1GB以内もしくは30分以内のどちらかになります。

### バックアップデータをパソコンで再生

バックアップしたデータを再生するには "QuickTimePlayer( クイックタイムプレーヤー) 7" 以降が必要です。 "QuickTimePlayer" はアップルコンピューターの WEB サイトより無料でダウンロー ド可能です。

https://www.apple.com/jp/quicktime/download/

操作手順 ——

1. バックアップした USB メモリをお手持ちのパソコンに接続します。

2.USB メモリが接続されているドライブを開きます。

3.USB メモリからパソコン上にデータをコピーします。

4. パソコン上に保存したデータを "ダブルクリック"します。

5. 再生が始まります。

### 🀨 ワンポイントアドバイス!

データのコピーはドラッグ&ドロップ、右クリックからコピーどちらの方法でも利用 可能です。

### <u> (</u>ご注意!

バックアップデータは必ずパソコンに保存したものを再生してください。 USB メモリに保存されたデータを直接再生することはできません。

### ネットワーク

ネットワークアクセスを利用するとインターネットやローカルネットワークを経由し てアクセス元のパソコン上からライブ・再生・バックアップが行えます。

### リモートアクセスについて

本書ではネットワークを通じ DVR にアクセスすることを総称して「リモートアクセス」と表記します。

本機で利用可能なリモートアクセスには2種類ありそれぞれを、 「ローカル接続」「グローバル接続」と表記します。

「リモートアクセス」を行うには本機のほかにブロードバンドルーターやインターネット環境等が必要になります。 また、ブロードバンドルーターにはポート解放設定が必要となります。 ご利用環境ごとに必要なものを記載しておりますのでそれぞれご用意ください。

### ローカル接続

本機を設置した自宅(事業所)内で本機にアクセス (インターネットに接続しない)



#### ご用意が必要なもの

●パソコン ※最低動作環境をご確認ください。

●ブロードバンドルーター ※IPアドレス変換(NAPT/IP マスカレード)に対応しているもの ● LAN ケーブル (Cat5e 以上 )

最低動作環境 ※搭載 OS が快適に動作することが前提となります。

- OS Windows VISTA 以降
- CPU インテル ® Core<sup>™</sup> 2 Duo 以上または同等の性能を持つプロセッサ
- メモリ 2GB 以上
- HDD 1GB 以上の空き容量 (バックアップを行う場合はさらに必要です。)
- ブラウザ Internet Explorer 8.0 以降

モニタ 解像度 1024×768 以上 (パソコン本体に接続可能なもの)

### ローカル接続の設定方法

ローカル接続は既存のインターネット環境や他のパソコンとのネットワーク内に本機 を組み込むことが可能になります。

この場合、ローカル環境下にあるパソコン全てから本機にアクセスして映像を見ることが可能になります。

ローカル接続の設定方法は複数存在しますが本項では最も簡単でペーシックな方法を 記述します。

本項を設定の際は本機とお使いのブロードバンドルーター (以下ルーター)の両方の 設定を確認・変更することが必要ですのでお使いのルーターの説明書も合わせてご用 意ください。

また、グローバル接続を行う場合でも最初に本項の設定をする必要があります。

#### 設定手順

1. 本機後面の LAN 端子に LAN ケーブルを接続しルーターと接続します。



2. ルーターとお手持ちのパソコンをLANケーブルで接続します。



3. パソコンからルーターにアクセスして IP 設定(IP アドレス /Sub Net Mask/Gate Way)を確認をします。



4. 次に本機を操作して【メインメニュー】>【ネットワーク】の順に開き IP アドレ スを設定します。



Local IP	192 168 001 089 任意のIPアドレスを設定
Subnet Mask	255 255 255 000 (DHCP割当て外)
Gate Way	192 168 001 001 ルーターと同じに設定
DNSH-K-	000 000 000
DHCP有効	× —— 【×】に設定
HTTP Port	80 任意のポート番号
高度な設定	(変更しなくても問題ありません)
アクセス 権限 3	

5. お手持ちのパソコンから Internet Explorer を起動し、アドレス欄に設定した本機の "IP アドレス + ポート番号 " を入力し、アクセスします



6. ログイン画面が表示されれば設定は完了です。

※操作方法や以後の設定については【リモート画面の操作方法】をごらんください。



LOGI	NPASSWORD
ID:	
Password:	
	LOGIN

#### 🏽 🕤 ワンポイントアドバイス!

本機への接続 URL をお気に入りに設定しておくと以後の映像確認が簡単です。

本機は出来るだけ市販のルーターに合わせる形で初期設定が行われています。 ご利用のルーターと設定が合っている場合は特に設定を変更されずに配線後に本機の 初期設定状態の IP アドレスを入力すればアクセス可能です。 設定が異なる場合は、本書を参考の上設定を行ってください。

ローカル接続時においても「ポート解放」が必要なルーターの場合は、ルーターの取 扱説明書をご参照の上「ポート解放」を行ってください。

#### 1 ご注意!

本機をご利用の事業所等でネットワークの管理者が存在する場合、ネットワーク管理 者にお問い合わせの上、管理者の指示通り設定を行ってください。

#### 🏽 🚱 ネットワーク管理者の方へ

本機で設定するローカル IP アドレス、 HTTP ポートは任意で設定可能です。 現在ご使用のネットワーク環境で DHCP を利用している場合、本機の IP アドレスは DHCP 割当範囲外のアドレスを設定して頂くとトラブルが少なくなります。 設置されるネットワーク環境に応じて変更してください。

## グローバル接続

AD-N4 を設置した場所以外から本機にアクセス (インターネットに接続)



#### ご用意が必要なもの

●パソコン ※最低動作環境をご確認ください。

●ブロードバンドルーター

※IPアドレス変換(NAPT/IPマスカレード)に対応しているもの

- LAN ケーブル (Cat5e 以上 )
- ●固定 IP またはダイナミック DNS サービス (グローバル回線側)

●本機側アクセス側の双方にインターネット回線(光回線推奨)

最低動作環境 ※搭載 OS が快適に動作することが前提となります。

- OS Windows VISTA 以降
- CPU インテル ® Core™ 2 Duo 以上または同等の性能を持つプロセッサ
- メモリ 2GB 以上
- HDD 1GB 以上の空き容量 (バックアップを行う場合はさらに必要です。)
- ブラウザ Internet Explorer 8.0 以降
- モニタ 解像度 1024×768 以上 (パソコン本体に接続可能なもの)

### グローバル接続の設定方法 ※先に「ローカル接続」の設定を完了させてください。

グローバル接続は外部(遠隔地)のパソコンよりインターネットを通じ、本機の映像 確認ができるようになります。

グローバル接続をご利用の際は、あらかじめ " ローカル接続 " の設定を完了して頂く 必要があります。

本項のほとんどの設定は本機が設置されているローカル環境のパソコンからルーター の設定を変更する作業になりますのでお使いのルーターの説明書も合わせてご用意く ださい。

またグローバル接続を行う際はご利用のインターネット環境に加え " 固定 IP" または "DDNS" サービスのご利用が必要となります。上記サービスのご利用方法は、現在ご 利用中のインターネットサービスプロバイダ (ISP) にお問合せください。

#### 設定手順

1. 本書 P.92 を参照の上 " ローカル接続 " の設定を正しく行ってください。

ローカル環境のパソコンからルーターにアクセスします。
※ルーターへのアクセス方法はご利用のルーターの取扱説明書をご覧ください。



3. ルーターに固定 IP アドレスまたはダイナミック DNS の設定を行います。 ※設定方法はご利用のルーターの取扱説明書と ISP より提供の設定情報を参照の上 行ってください。 4. ルーターにアドレス変換 (IP マスカレード設定 /NAPT) 設定を行います。



アドレス変換は以下表を参考に設定してください

変換対象	WAN側	変換対象	宛先	宛先
プロトコル	アドレス	ポート	アドレス	ポート
TCP	固定IP ※1 または DDNSアドレス	※2 任意	DVRの IPアドレス	DVRのHTTPポート (初期設定:80)

※1 ルーターによっては空欄のままでご利用頂けます。※2 DVR側のHTTPポートと同じ設定を推奨

 アドレス変換設定終了後に本機に対してグローバル接続状態にあるパソコンで "Internet Explorer"を起動し、アドレス欄に設定した 「固定 IP + ポート番号」または「DDNS アドレス + ポート番号」を入力します。



固定IP+ポート番号8000の場合 ● http://xxxxxxx8000/ ダイナミックDNS+ポート番号80の場合 ● http://alter.dvrdns.org.80/

※ポート番号80の場合、ブラウザ上の画面表示は省略されます ※ポート番号を80以外に設定された場合、

IPアドレスの後ろにコロン(:)を入力しポート番号を入力してください

6. ログイン画面が表示されれば設定は完了です。

※操作方法や以後の設定については【リモート画面の操作方法】をご覧ください。

LOGI	N PASSWORD
ID:	
Password:	
	LOGIN

#### 🏽 💽 ワンポイントアドバイス!

アドレス変換の方法はご使用のルーターメーカーによって異なりますが各社で下記の 項目より設定可能です。

バッファロー社製:アドバンスト>ネットワーク設定>アドレス変換 コレガ社製:詳細設定>バーチャルサーバ NTT 純正ルーター:詳細設定>静的 IP マスカレード設定> NAT エントリ編集 ※ 2009 年 8 月現在の情報に基づいています。



ルーターの機種によっては上記メーカーの機種であっても内容が異なる場合がありま すのでアドレス変換に関する詳細はご使用のルーターの取扱説明書をご覧頂くかルー ターの販売元に直接お問い合わせください。



ログイン

1. リモート接続を行うと「ログイン画面」が表示されます。

2. ご利用のアクセス権限に応じて「ユーザー ID」と「パスワード」を入力し「LOGIN」 をクリックします。

LOGI	N PASSWORD
ID:	
Password:	
	LOGIN

初期設定

ユーザー	ID	パスワード
管理者	9	3333
使用者	8	2222
ゲスト	7	1111

- お使いのパソコンで初めてアクセスする場合、「Active X」のインストール画面が 表示されますのでインストールしてください。
- 4. インストール後に再度ログインするとリモート画面が表示されます。

### 🐨 ワンポイントアドバイス!

「Active X」のインストールが行われない場合はブラウザのセキュリティ設定を 「中」に設定し、再度アクセスしてください。

## 操作方法

リモートアクセスしログインすると下記の"リモート画面"が表示されます。 操作方法メニュー / 操作エリアにあるボタンをクリックすると画面の切替えや各ボタ ンごとの動作が行えます。





ライブ映像は今現在のカメラ映像を確認することができます。

#### 操作手順 —

ネットワーク画面の " ライブ " ボタンをクリックすると操作エリアが切替わります。 それぞれのボタンを押すと各動作が行えます。



🌀 ワンポイントアドバイス!

リモートアクセスはインターネット回線を利用するため実際の映像に対しタイムラグ が発生します。お使いのインターネット回線の状況やパソコンの性能によってタイム ラグが増減します。

#### 再生画面操作

記録映像の再生はDVRに記録済の映像を確認することができます。

#### 操作手順 -

ネットワーク画面の"再生"ボタンをクリックすると操作エリアが切替わります。 下記図の手順で映像の再生が行えます。別のチャンネルを再生したい場合は"一時停止"を押して①~③動作を再度行ってください。



#### 🏽 💽 ワンポイントアドバイス!

再生はライブ映像よりも動作から表示までのタイムラグが長くなります。また、ボタ ン操作を頻繁に繰り返すとタイムラグが大きくなり応答が無くなったように感じる場 合があります。応答が無くなってしまった場合、ブラウザを再起動してください。



DVR に記録済の映像をパソコンヘダウンロードして保存することができます。

### 操作手順 -

ネットワーク画面の " バックアップ " ボタンをクリックすると操作エリアが切替わり ます。下記図の手順でバックアップが行えます。





ー度に行えるバックアップはファイルの容量が1GB以下または30分以内です。

#### 設定

ネットワーク画面より各種設定の確認や変更を行うことができます。 ※ブラウザ環境による文字化け防止のため画面表示は英語 / 数字のみとなります。

### 操作方法 ———

ネットワーク画面の"設定"ボタンをクリックすると画面表示が切替わります。 各項のタブをクリックしてそれぞれの設定が可能です。

タブをクリック	"設定"ボタン
Sprifer     Bauer     PPPUE     DDNS   Mail       Remote IP:     222.158.168.109     Remote Port:     80       [OS] 7.17.15-2_1631F     [B] REV-1.2     [SN] 7304000049     [N] 7304       [LG] Japan     設定画面が表示されます	ライブ 再生 539 182 Alter Network Surveillance
Ver 020729	

System(システム) 現在のシステムステータスを確認できます。

Bitrate(ビットレート) 映像の品質を設定できます。 ※お使いの環境下で映像が滑らかに表示されない場合は数値を低くしてください。

 $\mathsf{PPPoE}(\mathscr{U}-\cdot\mathscr{U}-\cdot\mathscr{U}-\cdot\mathsf{J}-\cdot\mathsf{J}-)$ 

PPPoE の設定ができます

※本書ではルーターを利用した、リモート接続を推奨しておりますので本項での説明 は省略させて頂きます。

DDNS(ディー・ディー・エヌ・エス) DVR 側から DDNS サーバーの設定ができます 利用可能なサービスは "DynDNS.com" "No-IP" の二種類です。 ※上記の DDNS サービスは他社サービスの為、当社ではサポート対象外とさせて頂 きます。

Mail (メール)

アラーム発生時に指定したアドレスに通知メールを送付できます メールの送付は通知のみとなります(画像データ等は添付されません) ※メールの送信は送信側のEメールアドレス設定が必要になります。お使いのEメー ルの設定をご利用ください。

### <u> (</u>ご注意!

"PPPoE" はルーターを使用せずに直接モデムと接続を行う場合に使用します。本書で はルーターを利用したリモート接続を推奨しておりますので本項での説明は省略させ て頂きます。また "PPPoE""DDNS" の設定についてはサポート対象外とさせて頂きま すのでご了承ください。

### 高度な設定

この項目ではネットワークに関する詳細な設定が可能です。 「PPPoE」「DDNS」「電子メール設定」はマウス操作が必須となります。

操作手順

1. ライブ画面で

📞 > 【高度な設定】の順に選択すると以下の画面が表示され設定が行えます。

● UPNP 有効	● ● ■ UPnP を使用する場合「○」にします
デュアルストリーム設定	= デュアルストリーミングの設定が行えます。
PPPoE 設定	=PPPoE の設定が行えます。
DDNS設定	=DDNS の設定が行えます。
電子メール設定	= メール通知設定が行えます。

# ■ 終了する場合は 💿 を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

UPNP(ユー・ピー・エヌ・ピー) UPnP を利用する事ができます。

デュアルストリーム設定

ネットワークアクセス時帯域が確保できない場合、設定した速度に自動で切替えます。 ※お使いの環境下で映像が滑らかに表示されない場合は数値を低くしてください。

PPPoE(ピー・ピー・ピー・オー・イー) PPPoE の設定ができます ※本書ではルーターを利用した、リモート接続を推奨しておりますので本項での説明 は省略させて頂きます。

108 H.264 デジタルレコーダー AD-N4 シリーズ
DDNS(ディー・ディー・エヌ・エス) DVR 側から DDNS サーバーの設定ができます 利用可能なサービスは "DynDNS.com" "No-IP" の二種類です。 ※上記の DDNS サービスは他社サービスの為、当社ではサポート対象外とさせて頂 きます。

電子メール設定

アラーム発生時に指定したアドレスに通知メールを送付できます

メールの送付は通知のみとなります(画像データ等は添付されません)

※メールの送信は送信側のEメールアドレス設定が必要になります。お使いのEメールの設定をご利用ください。

#### アクセス権限

ネットワークアクセス時のログインパスワードを変更できます。

= 管理者 (ID9)



3. パスワードの変更画面が表示されますので () を回して右の矢印を変更したい 数字に合わせ を押して新しく決めたパスワードを (4 ケタ ) を入力します。



管理者

- 4.緑色のカーソルが下の段に移動しますので、確認用に先ほどの数字と同じ4ケタの番号を入力します。
- 5. 正しく入力されると「パスワードを変更しました!」と表示されネットワークアク セス時のログインパスワードが変更されます。
- **110** H.264 デジタルレコーダー AD-N4 シリーズ

## ■ 終了する場合は を押すと一つづつ前の画面に戻れます。

#### 🌀 ワンポイントアドバイス!

このパスワードはリモートアクセス時のログインパスワードです。 本体を操作する為のパスワーではありません。

本体操作用のパスワードはメニュー操作 - システムの「パスワード設定」の項をご参 照下さい。

パスワードは定期的に変更される事をおすすめ致します。



本機ではユーザー ID は変更する事はできません。

## HDD の交換

本機はご自身でHDDを交換することが可能です。

### ご自身で作業される方へ

AD-N4 シリーズは市販されている SATA タイプの HDD がご利用いただけます。 HDD は精密機器ですので本書の " 必ずお読みください " の項をお読みの上、特に丁 寧に取扱ってください。

HDD の特性や交換手順を十分にご理解のうえ作業を行ってください。

### HDD の互換・保証

当社より提供するHDD以外のHDDを本機にご使用の場合、HDDの互換・保証 は致しておりませんのでご注意ください。

また、記録データ内容についてはいかなる場合においても保証致しかねます。

### 動作確認済み HDD と標準搭載品

当社では以下のメーカーのHDDで動作確認いたしております。 また、製造のロットによって以下のメーカーの中から選定して搭載しております。

■ Seagate 製 ■ Western Digital 製 ■ TOSHIBA 製 ※上記メーカー複数の HDD で動作確認を行っておりますが、個別の品番全ての動 作検証は致しておりませんのでご了承ください。

## HDD 交換サービス(有償)

HDDの交換は有償にて当社でも承っております。 下記のサポートセンターまでお気軽にご相談ください。

オルタプラスサポートダイヤル

TEL:042-775-2266 (平日:9:00~17:00)

#### 交換手順 -

1.本体後ろ面左上にある "カバーストッパー"のネジをはずします。



2. 〇印の位置を指で押しながらカバーを奥にスライドさせます。



3. HDDが取付けされている 4 箇所のネジをプラスドライバーで取り外し、HDD を右側にスライドさせてHDDを外します。



4. 新しいHDDを挿入し4箇所をネジ止めします。



5. 本体のカバーを閉じ、カバーストッパーを取付けます。



 6.本機がHDDを認識し画面上に"フォーマットしてください"と表示されたら フォーマットしてください。

7. HDD容量が画面下中央に表示されれば完了です。

#### 🐨 ワンポイントアドバイス!

HDD交換後にHDDが認識されるまでおよそ30秒程度必要です。 本機は電源を切らずにHDDが交換可能なホットスワップ機能を搭載しています。 HDD交換の際、システム状況に応じて自動的に再起動がかかる場合があります。

# 製品仕様

型式				
システム	OS	Animated GUI		
	マルチプレクス	Pentaplex(ライブ/録画/再生/ネットワーク/バックアップ)		
	メニュー表示言語	日本語 他全21ヶ国語を搭載		
映像表示	表示方式	NTSC/PAL(自動判別機能付き)		
	映像入力	4CH BNC-J ※付属ケーブル利用 (本体側:D-Sub15ピン)		
	映像出力端子	HDMI/VGA/BNC(サブ:出力)		
	映像出力サイズ	HDMI: 1920 × 1080 / 1280 × 720		
		VGA: 1920 × 1080 / 1680 × 1050 / 1280 × 1024 / 1024 × 768		
		BNC(サブ):800×600(50or60Hz)		
	ビデオロス検知	各チャンネル入力に搭載		
	モーション検知	各チャンネル入力に搭載		
	プレビュー解像度	各チャンネル最大720×480pixel		
	プレビューフレーム	120フレーム/秒		
	カメラ画質調整	各チャンネル毎に調整可能(輝度/コントラスト/色合い/彩度)		
	シーケンス	1~255秒で設定可能(1→2→3→4)		
	画面表示	4分割 / 各チャンネル表示		
	表示色	1600万色		
音声	入力	RCA-J×1		
	出力	HDMI または RCA-J×1		
録画	圧縮方式	H.264 エンハンスト		
	圧縮レート	300:1		
	解像度	704 × 480、704 × 240、352 × 240		
	画質設定	5段階(30FPS設定時は画質4まで)		
	フレームレート	各CH 2·3·5·7.5·10·15·30/秒		
	録画方法	常時/モーション/センサートリガー		
	スケジュール設定	1週間分を30分単位で設定可能		
	プリアラーム録画	2~10秒(オート)		
	上書き録画	ON/OFF設定可能		
再生	検索方法	日時指定/検索しおり		
	操作	再生/早送り/巻き戻し/一時停止		
	早送り速度	3段階(x5/x15/x60)		
記録装置	内蔵ハードディスク	1TB		
	ハードディスクタイプ	SATAx1台 最大4TBまで対応		
	外部ストレージ	ハードディスク 最大4TBまで対応		
	バックアップデバイス	USBデバイス 最大32GBまで		

検出エリア	各チャンネル 30×44マスでマスク設定が可能			
感度設定	100段階			
入力	8ch(NOまたはNC)			
入力端子	専用ターミナルブロック(本体側:D-Sub15ピン)			
出力	1CH TTL3.3V			
ブザー	内蔵ブザー			
検出トリガー	カメラ断線/動体検出/センサー入力			
~	最新の8192件を記録			
Ethernet	10/100base			
リモートブラウザ	IEブラウザ			
リモート解像度	ブラウザ側画面サイズ1024×768pixel以上を推奨			
リモート操作	ライブ/再生/バックアップ/パラメーター設定			
再生ビットレート	自動設定 または 10段階のユーザー設定			
音声	-			
プロトコル	PPPoE/DDNS/DHCP			
リモート接続数	1			
接続端子	付属ターミナルブロック(本体側:D-Sub15ピン)			
対応プロトコル	Pelco P/Honey Well/SystemAV/Eastel/Lilin/Pelco D/			
	Elitar/Panasonic/Eyeview/TOA/HI SHARP/VIDO AT			
本体	本体操作/リモコン/マウス			
ネットワーク接続時	管理者権限ログインでネットワーク設定の変更が可能			
システム回復	自動復旧•自己診断機能(電源復旧時)			
時計	内蔵クロック(月差±50~100秒)			
	NTPクライアント機能(インターネット環境必須)			
防塵フィルタ	-			
HDD交換	ホットスワップ対応			
アクセス権限	ローカル2段/ネットワーク3段階(パスワード保護)			
内蔵ファン	1個			
外形寸法	190W×230L×55H(mm)			
質量	約1kg(HDDを除く)			
電源	DC12V 2.5A(専用ACアダプター)			
消費電力	最大24W			
<u></u> 井	5~40°C			
代	約397円			
	PSE/FCC/CE			
	検出エリア感度設定入力入力端子出力ブザー検出トリガーたEthemetリモートブラウザリモート操作再生ビットレート音声プロトコルリモート接続数接続端子対応プロトコルシステム回復時計防塵フィルタHDD交換アクセス権限内蔵ファン外形寸法質量電源消費電力囲代			

外形寸法図



## 保証書

この保証書は、取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常・故障が発生した場合、保証書の記 載内容にて無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの際に、販売店印、ご購入日が記入されていることを確認してください。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

製品名 : AD-N4 シリーズ			販売店(店名、住所、電話番号)				
上げ日	より1年	間					
年	月	B					
			印				
ご住所 : 〒							
	(	)					
	4 シ! 上げ日 年	4 シリーズ 上げ日より1年 年月	I4 シリーズ 上げ日より1年間 年月日 ()				

#### 無償修理規定

- 1. 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で異常・故障が発生した場合は、上記の期間無料修理いた します。
- 2. 無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店もしくは当社へお申し付けください。
- 保証対象は、当製品のみを保証対象機種とさせていただきます。オプション・追加機器は各々の機器の保 証規定に準じます。
- 4.ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社へご相談ください。
- 5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

◇使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障及び損傷 ◇火災、地震、水害、落雷、そのほかの天災地変、公害やガス害、塩害、異常電圧による故障及び損傷 ◇指定外の電源(電圧)による故障及び損傷 ◇本書のご提示がない場合 ◇本書にお買い上げ日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合 ◇製品に異常が認められない場合

6. 本書は日本国内においてのみ有効です。

※本書は上記に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って本書によってお客様の 法律上の権利を制限するものではありません。保証期間後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店も しくは当社へお問い合わせください。

□本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず当社はいかなる責任も負 いかねますので、予めご了承ください。

□本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計・製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、当社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

□本書に記載された仕様・デザイン・そのほかの内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

	〒252-0131			
株式会社 キャロットシステムズ	神奈川県相模原市緑区西橋本 1-16-18			
	TEL 042-775-2266	FAX	042-775-7373	
(オルタフラスサホートセンター)	修理品等をご送付される際は、	上記の住	所までご送付ください。	